



福島医発第3033号（地）

平成25年3月29日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会 長 松 田 峻一良

（ 公 印 省 略 ）

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者の国内での確認状況について
（その4）

標記の件につきまして、厚生労働省健康局結核感染症課長より日本医師会並びに福岡県保健医療介護部保健衛生課を通して別紙のとおり通知がありましたのでお知らせします。

平成25年3月13日付福島医発2923号（地）「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行等について」にてお知らせしたとおり、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）が四類感染症に指定され、届出対象となりましたが、今般、新たに3症例が確認されました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただくとともに、過去の症例の掘り起こしも含め本感染症が疑われる患者があった場合の情報提供の協力方等について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 白石恒明
会 長 蒲池 壽

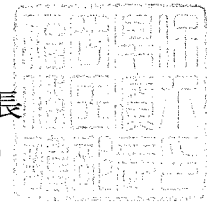
24保衛第3394号

平成25年3月12日

社団法人福岡県医師会長
社団法人福岡県病院協会
社団法人福岡県私設病院協会
全国自治体病院協議会福岡県支部長
社団法人福岡県精神科病院協会

殿

福岡県保健医療介護部長
(保健衛生課感染症係)



重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の国内での確認状況について（その4）

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

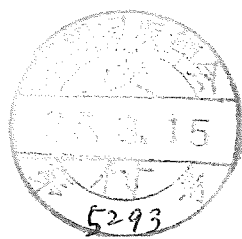
このことについて、厚生労働省健康局結核感染症課から、別添のとおり通知がありましたのでお知らせします。

なお、医療機関において、下記の臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見から重症熱性血小板減少症候群が疑われる場合（過去の症例の掘り起こしを含む。）やその際の検査等については、引き続き、最寄りの保健所に連絡等していただきますよう併せて周知をお願いします。

記

（重症熱性血小板減少症候群の臨床的特徴）

- ・主に SFTS ウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染し、潜伏期間は 6～14 日。
- ・発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）を主徴とし、時に、頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴う。
- ・血液所見では、血小板減少（10 万/mm³未満）、白血球減少（4,000/mm³未満）、血清酵素（AST、ALT、LDH）の上昇が認められる。
- ・致死率は 10～30%程度。



平成25年3月13日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

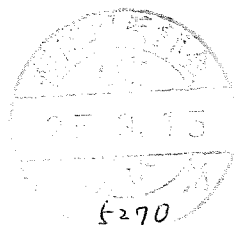
小 森 貴

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者の国内での確認状況について（その4）

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）が平成25年3月4日から感染症法の四類感染症に位置付けられることについては2月27日付(地Ⅲ218)をもって貴会宛お知らせいたしました。

本感染症については、今般、新たに3症例が確認され、厚生労働省健康局結核感染症課より各都道府県等衛生主管部（局）宛別添の事務連絡がなされましたので、情報提供いたします。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会、関係医療機関等に対する周知方ならびに過去の症例の掘り起こしも含め本感染症が疑われる患者があった場合の情報提供の協力方等について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。



事 務 連 絡
平成 2 5 年 3 月 1 2 日

各 { 都 道 府 県
保健所設置市
特 別 区 } 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の国内での確認状況について
（情報提供）（その 4）

日頃より感染症対策にご協力賜りありがとうございます。

標記の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）につきましては、平成25年3月4日から、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律114号）の四類感染症に位置づけられ、当該感染症の患者を診断した医師からの届出が義務づけられたところです。

本感染症に関する医療機関からの情報提供により、これまで5例の症例が確認されましたが、今般、新たに3例確認されましたので、情報提供いたします。

引き続き、過去の症例の掘り起こしも含め本感染症が疑われる患者があった際は、国立感染症研究所への情報提供及び検査等の相談をするよう、お願いします。

1. 新たに確認された症例（いずれも回復、国内感染疑い。）
 - ・高知県（80代の女性1名、平成24年4月発症。）
 - ・佐賀県（80代の男性1名、平成22年8月発症。マダニ咬着あり。）
 - ・長崎県（50代の男性1名、平成17年11月発症。）

2. 情報提供及び病原体診断等に関する問い合わせ先

国立感染症研究所村山庁舎 ウイルス第一部 担当：下島昌幸
電話番号：042-561-0771（内線3320）

（参考）

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について（厚生労働省ホームページ）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts.html>